

先輩職員からのメッセージ

岡山地方法務局総務課 総務課長 菅野 光



現在の業務内容は？

総務課では、主に庶務事務（広報、監査、福利厚生、危機管理等）と人事事務（人事管理、健康管理、共済、公務災害等）を担当していますが、課長として、関係機関、他課、支局、出張所間の連絡調整を行うほか、ワークライフバランスの推進など法務局全体に係る事務を企画運営する業務を行っています。

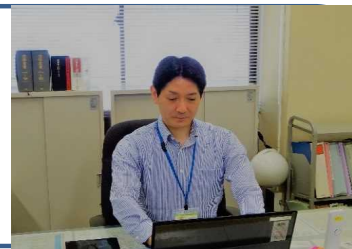
法務局の魅力は？

法務局は登記というイメージがありますが、実は、登記以外にも、人権擁護、戸籍、供託、訟務など、国民の権利に関わる様々な業務があります。それらの業務を経験することにより、結婚、出産、家の購入、契約上のトラブルなど生活する中で直面する様々な法律問題を解決する知識を身に付けることができます。

また、法務局の最大の魅力は、風通しの良い職場環境です。法務局の仕事は、法律を扱う専門的な仕事が多いですが、先輩や上司に相談すれば、優しく教えてくれますし、若手職員がどんどん発言しやすい雰囲気があります。勤務面でも、ワークライフバランスを推進しており、長時間の超過勤務をなくし、休暇を取りやすい職場環境を構築しています。

法務局の求める人材は？

- 1 自ら学ぶ意欲を持ち、次の目標に向かって挑戦することができる人
- 2 周囲の人と共に、行動することができる人
- 3 柔軟な発想と広い視野で課題に取り組むことができる人



法務局に興味を持っている方へ一言お願いします。

法務局と聞くと、堅苦しいイメージがあるかと思いますが、是非、業務説明会や官庁訪問に参加して、法務局で働く職員のリアルを体感していただければと思います。

就職は、皆様にとって人生を左右する重要な岐路といえます。皆様の人生をワクワクさせるような仕事が、きっと見つかると思いますので、是非、法務局の門を叩いてみてください。

皆様と一緒に働けることを楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ

岡山地方法務局戸籍課 係員 大林知世



法務局を志望した理由は？

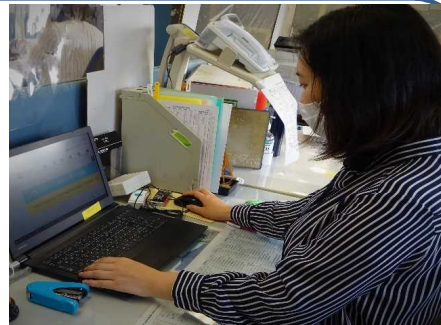
法学部に進学する際、将来学んだ知識を活かせる職場に就職したいと考えていました。

就職活動の中で、法務局の業務説明会に参加する機会があり、幅広い業務内容や明るい先輩職員にひかれ、志望しました。

現在の業務内容は？

戸籍課において、戸籍や国籍に関する事務を担当しています。

戸籍の届出は市区町村の窓口が届出されますが、法務局では、戸籍の処理が全国一律の方法でされるよう、市区町村に対し助言や指示を行っています。



仕事でやりがいを感じた時は？

戸籍課では、毎年、市区町村職員に対し戸籍の研修を行っています。昨年度、私は婚姻・離婚について講義を担当し、成人年齢の引き下げ等法改正の内容を踏まえ、レジュメやパワーポイントを作成しました。講義は非常に緊張しましたが、講義後の受講者アンケートで良い感想をいただいたとき、努力が報われたという実感があり、やりがいを感じました。

趣味や休日の過ごし方は？

法務局では、ワークライフバランスを充実させるため、休暇の取得促進に取り組んでいます。運動する機会が減ったので、休日は散歩をしてリフレッシュしています。コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、今年は休暇を取得し、南の島に行けたらいいと思います。

法務局に興味を持っている方へ一言お願いします。

法務局の業務は幅広く、仕事をしていると、知識や経験不足のため行き詰まってしまうこともあります。周囲には助けてくれる先輩職員や同僚がいます。また、研修制度も充実しているため、自分の興味のある分野についてしっかり学ぶことが出来ます。

皆様も私たちと一緒に法務局で働いてみませんか。

先輩職員からのメッセージ

岡山地方法務局倉敷支局登記部門 係員 中濱祐美



法務局を志望した理由は？

法律に携わる仕事がしたいと考えていたことに加え、業務説明会や座談会を通して、法務局が高い専門性を持ちながら国民の生活を支える幅広い業務を取り扱っていることを知り、魅力を感じたため志望しました。

現在の業務内容は？

登記部門において、登記申請の調査及び登記事項を記録する業務を行っています。

また、印鑑カード関係や電子認証など、アクセス登記所に関する業務も行っています。



仕事でやりがいを感じた時は？

日々知識を習得していく中で、その知識を業務に活かすことができた時にやりがいを感じます。また、窓口や電話等でお客様の疑問点を解消した際には、丁寧にお礼を言うくださる方もいるため、モチベーションにつながります。

趣味や休日の過ごし方は？

休日は自宅で読書等をしてゆっくり過ごしています。法務局ではワークライフバランスが推進されており、連休の取得も推奨されています。

法務局に興味を持っている方へ一言お願いします。

法務局では研修制度が充実しているため、業務に必要な専門的知識を時間をかけてしっかりと学ぶことができます。また、日々の業務を通して自らの成長を実感することもできます。皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ

岡山地方法務局高梁支局 登記調査官 大島崇史



現在の業務内容は？

私は、高梁支局の中で、登記調査官として、不動産に関する登記申請事件の調査を担当しています。

申請事件は、表示登記と権利登記に分かれており、私が担当しているのは、表示登記の調査となっております。

出勤

正規の始業時間は、8時30分ですが、育児時間を1時間取得しており、9時30分に出勤しています。朝の時間は、妻と分担して育児をしています。

子供の体調不良で、急に休暇を取得することもあります。職場のサポートのおかげで対応できています。

午前中の業務

出勤後、前日までに調査が終わっている申請について、実際に現場まで物件の調査に行きます。申請が正しく行われているかどうか、実際に現場を見て確認することは、とても大事なことです。

申請が多い時は、一日中、現場を見て回ることもあります。



お昼休み

法務局は、昼時間も窓口を開けているため、職員が交代で休憩を取ります。

お昼休みは1時間あり、休憩室で休憩する人、庁舎外にて昼食をとる人など、過ごし方は様々です。

午後の業務

午後からは、その日に出了申請の調査を行います。高梁支局には、ベテランの職員がいるため、分からないことがあれば、何でも優しく丁寧に教えてください。



休日の過ごし方

休日は、土日と祝祭日です。

私は休日、いつも子供と遊んでいます。私には、子供が3人おり、一番下の子は、去年生まれたばかりです。

まだしゃべれないですが、ニコニコと笑ってくれると、それだけで癒やされ、また、明日から仕事を頑張ろうという気持ちになります。

最後に一言お願いします。

法務局は、男性も女性も同じように活躍できる職場です。私も実際に1か月間の育児休業を取得しました。

法務局では、育児のための制度が充実しており、家庭と仕事の両立できる職場です。また、ワークライフバランスのための様々な制度が整っています。皆さんも、私たちと一緒に充実した法務局ライフを送りませんか。